

あなたと議会を結ぶ情報誌

平成27年9月

No.181

# 議会だより



はこね

## 主な内容

6月定例会・7月臨時会

議会報告会…………… P 2～P 3

議案の審議結果等…………… P 4

議案ごとの審議結果（表）…………… P 5

一般質問…………… P 6～P 10

委員会の活動状況…………… P 11～P 12

湖水祭

鳥居焼き祭り

大文字焼き祭り 嶋雄司さん撮影

# 報 告 会



## 広報広聴委員会報告

去る6月26日、議会報告会を開催しました。夜7時の開催にも関わらず、町民25人の方にご参加頂きました。ありがとうございます。内容は、議会を代表して西村議長のあいさつ、各議員の自己紹介の後、議会改革と平成27年度予算概要をテーマに各議員が報告をしました。予算質問については、各議員が2分程度自己の質問について説明をしました。

その後テーマ毎に質疑応答行った処、町民の方より多種多様にわたり、質疑が御座いました。又、多くの方より、このような機会を多く増やして下さいとのご要望も有りました。

「町民からもっとも頼りにされる議会」をスローガンに議会改革に邁進している箱根町議会の中に在って、広報部門を受け持っている広報広聴委員会では、議会だよりの編集及び発行に関すること、議会のホームページ等に関すること、議会と町民との意見交換に関すること、議会報告会に関すること、その他議会の広報広聴に関することを職務として、7名の委員会メンバーにより活動させて頂いております。報告会以外での本年の活動としましては、議会だより2回の発行と1回の意見交換会を開催致しました。

広報広聴委員会委員長

稲葉親太郎

## 町民が問う！

### 議会改革関係

**問** 削減可能性自治体と指  
摘されたことについて  
の対策は。

**答** 定住化対策として空き  
家条例を作っていたが  
国の法が整備されたので現  
在はその動向を見ている。

# 議 会



**問** 本会議での議案貸出だけでなくダウンロードできるようにしてほしい。地元議員と意見交換をしたいのだが議会に申し込めばいいのか。

**答** 予算の関係で議案は貸し出しとしているが現在はホームページにも掲載しているのでダウンロードすることは出来ます。議会としてではなく地元の議員との懇談であれば、直接該当議員と調整してください。

## 予算関係

**問** 洞爺湖は噴火の予知が出来る(噴火が定期的で、噴火を経験者もいて予知がしやすい)から火山マインスター制度が可能であると考えている。箱根は、予知ににくい。人選が難しいがどのように考えているか。

**答** 提案した火山マイスター制度は噴火予知というだけでなく箱根町がジオパークとして認定されたことを町として盛り上げ地域

に浸透させていくために提案させていただいたものである。人選等は考えていないが貴重な意見として参考としたい。

**問** 高校通学費の値上げについて人口減少につながらないとの回答だったがこれを契機に引越す人がいてもおかしくないと思う。

**答** 通学費についてはそれを懸念して質問をしたが町の回答はそれ以外に子育て支援策は充実しているとのことであった。

## その他

**問** ひとつの会派の人数が多、多くのことが最初から決まってしまうのではないか。

**答** 採決は個人の考え方が尊重されていると考えている。ただ会派は同じ考え方の議員が集まっているので採決が近くなるものだと思う。

# 6月定例会

町議会6月定例会は、6月9日から6月19日までの会期で開催され、条例の改正一般質問を行いました。条例改正の内容が語句の変更等については説明を省略しています。

## 専決処分

- 専決処分の承認を求めることについて・・・承認
- ・町税条例の一部改正
- ・平成26年度箱根町一般会計補正予算(専決第3号)
- 除雪関係経費についての補正を承認しました。

## 条例

- 箱根町行政手続条例の一部改正
- ・・・可決

## 補正予算

- 平成27年度箱根町一般会計補正予算(第1号)
- ・・・可決

歳入歳出にそれぞれ7695万1000円を追加し総額を92億95万1000円とすることに可決しました。

## 財産貸付

- 財産の無償貸付け及び減額貸付けについて・・・可決

芦刈の里観光施設活用事業を推進し、旧箱根声之湯フラワーセンター跡地を拠

点として地域活性化観光振興を図ることを目的として共有財産である土地・建物を無償及び時価よりも低い価額で貸し付けることを可決しました。

## 物件供給契約

- 物件供給契約の締結について
- ・・・可決

災害対応梯子月自動車車両購入について株式会社モリタテクノス東日本営業部と1億6956万円で契約を締結することに可決しました。

## 意見書提出

- 国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書提出について
- ・・・可決

後述の陳情の採択を受け議会から意見書を提出しました。

## 報告事項

以下の5つの項目について報告がありました。

- 平成26年度箱根町一般会計予算繰越明許費の繰越しについて
- 平成26年度箱根町一般会計予算繰越明許費の繰越しについて
- 平成26年度箱根町一般会計予算の事故繰越しについて
- 一般財団法人箱根町観光協会経営状況の報告について
- 公益財団法人箱根町文化・スポーツ財団経営状況の報告について

## 陳情

- 国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書提出について
- ・・・採択

○教職員定数の抜本的な改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係

る意見書採択についての陳情書・・・趣旨採択

## 7月臨時会

7月臨時会は7月7日に開催され2件の物件供給契約について審議がされました。

## 物件供給契約

- 物件供給契約の締結について
- ・・・可決

高規格救急自動車購入について神奈川県トヨタ自動車株式会社直販部と2030万4000円で契約を締結することに可決しました。

○物件供給契約の締結について  
高規格救急自動車用医薬品・医療器具購入について、株式会社ワコー商事と1182万600円で契約を締結することについて可決しました。

## 意見交換会について

6月定例会の報告事項を受け、一般社団法人箱根町観光協会及び公益社団法人箱根町文化・スポーツ財団と意見交換を行いました。

昨年度から実施しているこの意見交換会ですが、こちらは議会から各種団体への申し込みという形で開催されています。町民のみならずとの意見交換も随時行っております。

概ね10名程度の人数で申し込んでください。また意見交換したいテーマもご用意ください。

詳しくは箱根町議会事務局(☎851-9570)へご連絡ください。



**議案ごとの審議結果**

6月定例会	議決結果	村野由紀子	川端祥介	川口延明	勝俣剛一	小川鶴雄	勝俣公好	山田成宣	稲葉親太郎	山田和江	石川栄	遠藤秀則	折橋尚道	沖津弘幸	西村和夫
議案等															
専決処分の承認を求めることについて	承	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長は採決に参加しません
専決処分の承認を求めることについて	承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
箱根町行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
平成27年度箱根町一般会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		
財産の無償貸付け及び減額貸付けについて	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
物件供給契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		
国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書の提出について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		
国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書提出についての陳情	採	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		
教職員定数の抜本的な改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択についての陳情書	趣旨	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		

7月臨時会	議決結果	村野由紀子	川端祥介	川口延明	勝俣剛一	小川鶴雄	勝俣公好	山田成宣	稲葉親太郎	山田和江	石川栄	遠藤秀則	折橋尚道	沖津弘幸	西村和夫
議案等															
物件供給契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長は採決に参加しません
物件供給契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		

※ 記号の説明 承：承認 可：原案可決 採：採択 趣旨：趣旨採択 ○：賛成 ×：反対

6月定例会では、町政全般へ9人の議員が11項目にわたる一般質問を行いました。なお、質問者及び質問項目は、下の表のとおりです。

掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に抜粋し、編集したものとっておりますので、ご了承ください。また、内容については、6月現在のものとなっております、現在の状況と異なる場合がありますので、ご注意ください。

質問者	質問項目	ページ
石川 栄	・大涌谷の火山活動に関する対応策について	6
勝俣 公好	・大涌谷の火山活動について	7
山田 成宣	・町の歳入増に向けた試み（ふるさと納税）と地方創生に伴う地方版総合戦略の策定について	7
折橋 尚道	・大涌谷噴火レベル2火口周辺規制下での観光客減少による事業者及び雇用者支援について	8
勝俣 剛一	・鳥獣被害対策	8
村野由紀子	・箱根火山活動の対策と課題について	9
川端 祥介	・箱根町のスポーツ振興について ・箱根町の鳥獣被害対策について	9
遠藤 秀則	・湯本駅前交通渋滞に係る災害時の対応について	10
山田 和江	・戦争法案に反対の意思表明を ・箱根火山の活動について	10

町の考え方を問う！

一  
般  
質  
問

大涌谷火山活動に関する対応を問う！

町長 — 関係機関等と連携し、万全の防災対策を講じる



**問** 立ち入り禁止措置地域内「観光施設、温泉供給施設」また温泉の供給を受けられなくなった際の事業所融資補助措置についての考えを伺う。

**答** 4年前の東日本大震災時と同様、町内事業者の運転資金として「経営安定緊急融資制度」を創設、融資件数70件分2,100万円を、また信用保証料及び利子補給予算2,583万円計上、また状況を見ながら追加預託を検討、先日国会に出向き「セーフティネット保障制度、中小企業信用保険法」の拡充について要望してきた。



石川栄議員

**問** 避難場所の整備について伺う。

**答** 大涌谷周辺にはロープウェイ駅、土産店等の堅牢な施設が点在しており、建物に一時避難、状況により、さらに安全な場所に二段階避難を計画している。

**問** 国・県との連携、情報共有の連絡体制について伺う。

**答** 突発的噴火発生と周辺警報が発令された場合に分けた避難誘導の対応、協議会の構成機関の気象庁、横浜気象台、温泉地学研究所、県災害対策課、県政総合センター、県警と連携し、万全の防災対策を講じる。

**問** 静岡大学の小山教授によると、箱根火山噴火の確立は4%、噴火せず終息は96%と説明しており、伊豆東部火山（伊東市）等は火山防災協議会が確立付の火山活動シナリオを作成、地域防災計画に揭示している。箱根町でも同様の計画ができないか伺う。

**答** 箱根火山防災協議会も気象庁、温泉地学研究所、他の観測機関の意見も伺い、地域防災計画の中に、「確立付の火山活動シナリオ」について検討の必要があると考える。

# マスコミの箱根山という報道への対応について

町長 — 「大涌谷周辺」と改めるよう要望を提出した



勝俣公好議員



**問** テレビ、新聞等のマスコミに、箱根山という山がないのに箱根山と報道される。このことによる風評被害が出ているが、報道機関に対して、箱根山という名称を使わないよう申し入れを行ったのか。

**答** 大涌谷における蒸気噴出の場所を箱根山と呼ぶと、箱根全体をさすと誤解されると思われる、報道機関に対し、名称を「大涌谷周辺」という名称に改めるよう要望を出した。

**問** 火山活動がいつ治まるかわからない状況で、町全体での経済的被害は甚大になる。国、県への支援要請を行っているのか。

**答** 経営安定融資制度等を立ち上げる予定、また国へのセーフティネットの利用条件について保障拡大を要望している。

**問** 噴火警戒レベルが2（質問当時）であるが、レベル3に上がったときの対応策はどのようなものか。

**答** 県道の早雲山駅付近から姥火口域を中心とした半径1kmほどのエリア内の住民等の避難誘導、さらには避難所の開設等を行う。規制エリア内の居住状況の調査を進めている。これまでのところ、住居や従業員寮など合計32棟が対象となる。避難先や連絡先などの聞き取りを行うほか、けが人が発生した場合も想定し、消防や警察の協力などについても準備している。

# ふるさと納税における収入増に向けた試みは？

町長 — 箱根らしい魅力ある謝礼品等の充実を図る

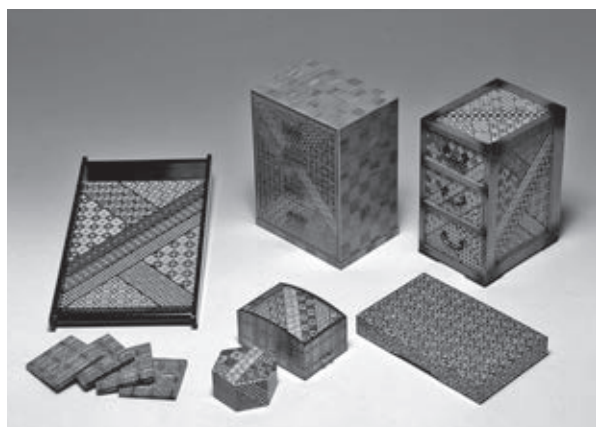


山田成宣議員

**問** 全国的にも話題になっている、ふるさと納税について、現在の箱根町における税収増に向けた試みについて伺う。

**答** 歳入増加に繋がるポイントには「魅力ある謝礼品の充実」にあると日に強く認識してきている。そこで、町としては箱根らしさを出した宿泊関連の商品等を始め、「より魅力ある謝礼品」を充実させるため、今回導入する事業の推進にあたっては、プロモーション、謝礼品開発等、一連のふるさと納税謝礼品業務について十分な信頼と実績の認められる代行業者JTBと連携しながら取り組むこととしました。

謝礼品を取り扱う民間事業者にとっても、ふるさと納税に係るサイトや謝礼品カタログに謝礼品の画像商品目録、企業名などが掲載



されますので、ふるさと納税に関心のある多くの方々をはじめ、全国に向けてPRできるチャンスでもあります。また、謝礼品の発送時に自社商品・サービスなどのパンフレットを同封することで販売促進PRに繋がるというメリットもあります。ぜひ、多くの事業者がこの事業を活用し、積極的に参加して頂けるよう、町としては大いに期待しています。

# 噴火警戒レベル引き上げに伴う支援策について

町長 — 各省庁へ保証拡大を求める緊急要望を行っている



折橋尚道議員

**問**

災害救助法の適用外で、観光産業に関わる事業者・雇用者に対して、

経済的損失が生じたときの支援策がセーフティネット貸付及び雇用調整助成金制度の2つの支援策のみで十分とは言えない。支援策強化に対して、国や県に働きかけるとともに新たな法整備を要望することの町長の考えを伺う。

**答**

町としても、各省庁に対して、保証拡大を求める緊急要望として行っている。新たな法整備を行うよりも、既存の保証制度の中で、要件の緩和を行うことが、より早い対応ができるかと判断したためである。また、観光産業に支援する根拠となる法整備にも時間はかかるが実現に期待している。

**問**

災害や著しい経済状況の悪化等が生じた時の町の対応として、情報発信の統一と相談窓口の一本化をする必要があるのではないか。

**答**

相談については観光課で話を受け、必要な部署への案内をしている。報道官的な人材についても、組織上、広報をカバーするのは企画観光部である。

**問**

これから2回目の固定資産税の支払期限が来るが、支払期限の延期等の支援策が可能か。

**答**

納税通知書をすでに発行済みなので、納税者すべてに対応することは難しい。納期の延伸又は分納等の希望者には、個別に対応することを考えている。



# 有害鳥獣被害対策を問う！

町長 — 箱罾を追加購入し整備を進めるとともに、狩猟免許取得に係る補助金制度を設け、人材確保を図ります！



勝俣剛一議員

**問**

増え過ぎた野生動物による徘徊や農作物への被害が増大し、生息地域の拡大や個体数の増加等、住民にとって不安で深刻さが増す日常ですが、町側はこの状況をどのように考えているのか、お伺いします。

**答**

神奈川県猟友会箱根支部に在籍する16名の会員に駆除を依頼、昨年度は、前年度比19頭増の48頭を駆除いたしました。

また、町職員に罾免許の資格を取得させ、通報等に速やかに対応するようにしています。

**問**

約千頭以上生息すると思われる猪や鹿の捕獲が年50頭足らずでは大幅な効果があるとは思えません。平成26年度から28年度までの3ヶ年で鳥獣被害防止計画を定め取り組んでいると思いますが、内容についてお尋ねします。

**答**

罾台数の増加と狩猟者の確保が重要と考え、27年度は箱罾を追加購入し整備を進める。狩猟者に関しては、狩猟免許取得のための補助金制度を設け、人材の確保をはかります。





# 箱根火山活動の対策と課題について

町長 — 住民説明会は重要なことだと思っているが、現時点では説明会の開催まで至っていない



村野由紀子議員



**問**

大涌谷周辺の火山活動は、初めて噴火警戒レベル2に引き上げられて、回覧板、広報、ホームページなどでお知らせしているが、住民への説明会についてお伺いします。

**答**

大変重要なことだと思っている。ただ、なかなか地元へ出向いて説明会をするところまで、力が出せない。

**問**

箱根町には、平成16年3月に作られた防災マップがある。その時は、各世帯に配布して、住民説明会も実施されている。もう一度、各世帯に配布して、住民説明会を行ってはどうでしょうか。

**答**

随分前から掲載して、いつでも見れるようにしています。配布については、検討してまいります。

### 箱根町火山防災マップ



その他にも、観光客への周知について、庁内への周知について、群発地震への対策について職員との初動対応と住民からの問い合わせについて、火山ガスへの対策についてなどお伺いしました。

# スポーツ振興に対する基本的な考え方を問う！

教育長 — いつでも、どこでも、だれでもがスポーツを楽しむことを基本理念としている



川端祥介議員

**問**

本年10月からスポーツ庁が設置されることとなり、スポーツ振興も高まります。箱根町のスポーツ振興に対する基本的な考え方を伺います。

**答**

当町のスポーツ振興としては、いつでも、どこでも、だれでもが、スポーツを楽しむことを基本理念としている。

また、この理念を具体的に推進するために、現在、生涯学習課体育振興係を主管として、スポーツを「する・見る・支える」という三本柱を立て、生涯スポーツの振興を図っています。

# 改正鳥獣保護法のポイントと今後の野猪対策について

**問**

増えすぎた野生動物に対して、この度、「改正鳥獣保護法」が施行されます。今回の改正のポイントと今後の野猪対策について、町の取り組みを伺います。

**答**

改正鳥獣保護法については、夜間の銃による捕獲。県が捕獲事業者を認定する制度や、わな猟免許取得年齢を現行20歳以上を、18歳以上とすること等としました。当町の今後の取り組みとしては、引き続き、県猟友会箱根支部と連携を図り、年間を通じて鳥獣被害の軽減を図ってまいります。



# 災害時の主要道路である湯本駅前渋滞の緩和を！

町長 — なかなか改善が見られないが、  
渋滞緩和に向け努力していきたい。



遠藤秀則議員

**問** 湯本駅前については、鉄道やロータリーの出入りなど交通網が集中する玄関口として湯本ターミナル整備事業が官民一体で進められ、平成24年に横断デッキが整備された。安全で快適に横断することができ、交通渋滞を緩和するため設置されたと聞いています。整備当初に比べ、効果が薄らいでいると思います。町において重要な課題の大涌谷の火山活動等、町民・観光客の避難道路である駅前の渋滞に、非常に危機感を覚えています。災害を視野に入れ、渋滞道路の考え方について伺います。

①横断デッキの効果検証と、今後の渋滞緩和について

②駅前交通渋滞の災害時の対策について



**答** 国際観光地の玄関口として、機能充実を県・箱根登山・町が一体となりバリアフリー化、利便性の向上、渋滞緩和の整備を行った。横断デッキは24年に供用開始、歩行者については大きな変化は見られないが、渋滞は若干緩和した。

**問** 現在も乱横断や違法駐車により渋滞がある。災害時の重要課題として取り組むべきではないか。

**答** 小田原署を始め、地域関連団体での違法駐車追放モデル地区推進協議会として巡回パトロールを行っているが改善が見られない。湯本地域住民の長年の想いなので、渋滞緩和に向け努力していきたい。

# 戦争法案に反対の意思表示を！

町長 — 時間をかけて慎重に審議していただきたい



山田和江議員

**問** 安倍自公政権は、5月15日、戦争法案を国会に提出しました。この法案は、いつでもどこでも米軍主導のあらゆる戦争に自衛隊を参戦させ、日本が直接攻撃されなくても、平時から集団的自衛権の行使に至るまで、どんな事態でも米軍を支援する戦争法です。自衛隊が地球規模で戦闘の場に行き、武器を使用として「殺し殺される」ことが、まさに現実となるのです。わが国には、アジアと世界に不戦を誓った憲法9条があり、歴代の自民党政権でさえ、憲法上できないとしてきたことをふみ越えることは、9条の破壊そのものです。山口町長に、箱根の若者や子どもたちの命を守るためにも、安倍政権の「戦争法案」に反対の意思表示を求めます。

**答** 時間をかけて慎重にしっかりと審議していただきたい。このことについては消極的にならざるを得ない。

# 大涌谷火山活動への対応等について

**問** 噴火警戒レベルが2に引き上げられ、大涌谷への立ち入りが禁止されているが、今後の対策として、実際の地名で報道してもらうような要請を繰り返し行うべきではないか。宿泊客のキャンセルで、パート労働者の自宅待機、雇用不安が広がっている。国県を含めて対応できる制度があるか。また、火山観測体制の強化について伺う。

**答** 箱根山の名称を使わないよう声明を出した。雇用調整助成金がある。県において、火山災害監視機能強化として、6,100万円予算計上している。



# 委員会の活動状況報告

## 総務企画観光常任委員会

当委員会では、調査研究テーマを「定住化対策」「防災対策」「観光施策」の3項目に決定し、調査研究を進めてきました。

1つ目の「定住化対策」では、日本創成会議が発表した「消滅可能性自治体」に箱根町が位置付けられたことを受け、町内に多く存在する空き家等を利活用し、定住化に結び付けるため、空き家条例の制定を目標に取り組んできました。しかし同時期に、国において空き家対策特別措置法が公布されたことを受け、やむなく中断することとしました。

2つ目の「防災対策」では、大規模災害時における議員の役割について調査研究を進め、本年3月に「箱根町議会災害対策会議設置要綱」及び「箱根町議会における災害時議員行動マニュアル（地震編）」を制定しました。いざという時に迅速な行動が取れるよう、防災資機材倉庫の点検等を行いました。さらなるスキルアップを目指し、9月に救命講習を受講する予定です。

3つ目の「観光施策」では、2020年オリンピック・パラリンピックを視野に入れた観光施策について調査研究を進めてきました。

10月からは新たな委員会構成となりますが、調査研究を通し学んだことを今後の議員活動に活かしていきたいと思えます。

総務企画観光常任委員長 石川 栄



## 教育福祉環境常任委員会

教育施策の調査研究として箱根中学校の視察を行いました。

箱根中学校では施設の老朽化が目立ちましたが、補修・改修の計画等を伺い適切な判断が出来ていると考えられますが、人口減少が著しい箱根町において将来の箱根町を見越した計画づくりなど一考の余地があるのではないかと感じています。とはいえ雨漏り等の喫緊の課題などにはなるべく早い時期の対応をしていただきたいと思います。

教育福祉環境常任委員長 遠藤 秀則



## 行財政改革調査特別委員会

行財政改革については、二つの分科会を作り調査を行っているところです。調査の項目ですが「歳入」と「歳出」に分かれて予算資料をベースに調査をしています。予算自体も切り詰めたものになっていますので、なかなか踏み込みにくいところもありますが、町へ提言していくため、両分科会での会議を重ねています。

行財政改革調査特別委員長 沖津 弘幸



## 大涌谷対策協議会

大涌谷の火山活動の活性化に伴い、議会でも要望活動など様々な対応をしてきました。6月30日の噴火警戒レベル3への引き上げを受け、その日の午後に全議員を招集し現状の把握と共有を図りました。また、この事態を受け7月7日に大涌谷対策協議会を立ち上げました。その中で個々の議員がその地域ごとの情報を収集し議会全員に地域の現状について情報の共有を図りました。

今後も大涌谷の状況についてつぶさに情報を収集し、国県に要望をしていきたいと考えています。

大涌谷対策協議会 会長 西村 和夫



## 議会改革等推進特別委員会

議会改革等推進特別委員会が発足して2年近くが経過し、出来る改革は直ちに実行することを心がけ取り組んでまいりました。この間に、議会情報の発信、傍聴規則の改正、議会での電子機器の利用促進、意見交換会開催など、数多くの改革をしてまいりました。

また、広報広聴委員会の発足により、新たな町民との対話の窓口が確立され、議会改革の大きな節目として、6月25日に初めての「箱根町議会報告会」を開催することができました。

議会ではこの春、議会改革に関する意見を議員全員より求め、今後の改革を取りまとめた「箱根町議会の活性化に向けた理念と方針」を策定し、目標とする理念を「町民から最も頼りにされる議会」と定め、これからも町民に期待される議会となるよう改革を進めてまいります。議会改革に関する詳しい内容は、ホームページに掲載していますので、ご一読いただければ幸いです。

議会改革等推進特別委員会 委員長 折橋尚道

### 編集後記

大涌谷の噴火警戒レベルが2へと下がりました。やっと明るい兆しが見えてきましたがこの夏は大変厳しいものでありました。町民また芦ノ湖夏祭りウィークをはじめとする夏の観光にはいらっしやる観光客の皆さんの安心安全を第一に考えながらどのように観光立町として町づくりを行うのか国や県の力を借りながら何らかの具体策が見いだせないものかと行動した毎日でした。芦ノ湖夏祭りウィークも湖水祭りから始まり大文字焼き祭りまでが無事終了し、例年より客足は落ち

たものの盛大に開催されたものと思っております。これには地元自治会、各観光協会の皆さんが観光客へ対して災害時の案内等が大変丁寧であったことも起因していると思います。箱根町の難局を、町、議会、町民の皆さんとのオール箱根で解決していきましょう。

(山田成宣 記)

### 広報広聴委員会

- 委員長 稲葉親太郎
- 副委員長 勝俣剛一
- 委員 村野由紀子
- 委員 遠藤秀則
- 委員 折橋尚道
- 委員 勝俣公好
- 委員 山田成宣

## 9月定例会 開催中!!

現在、9月定例会が開催されています。ぜひ傍聴にいらしてください!

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

☎ 85-9570